

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>■トップセールスについて 2/27から大玉すいか、3/16から小玉すいかの出荷が始まっている。JA鹿本の園芸部会としては、4/11に山鹿市長とJA鹿本組合長が東京へトップセールスに行く予定である。熊本市長へもご案内があったと思うが、マニフェストにもあるように、是非、今後、トップセールスを実施してもらいたい。</p>	<p>【市長】 熊本市にはJA鹿本、JA熊本市、JA熊本宇城があり、行政の範囲とずれているが、JAとの連携を更に深めていきたい。4/11は日程が合わず大変申し訳なく思っている。早めに年次計画みたいなものを出してもらえると日程を調整しやすくなる。個別でトップセールスを行うことも悪くはないが、首長同士が連携したPRなど、一気に行うことによる効果もあると思うので、今後も戦略を考え、トップセールスを行っていきたい。また、SNSの活用やメディアで取り上げてもらうことも重要であり、メディアも活用していきたい。市長に宣伝してもらいたいものがあれば、積極的に持ってきてほしい。 また、農家の皆さんが農産物をどうやっておいしく食べているか、食べ方や見分け方などに興味がある人が多くいる。このようなこともPRできる。</p>	農水局	農業政策課
2	<p>■人材不足への対応について 生産者は、高齢化も進み、減少しているが、選果場の従事者も集まらない。働き方改革による残業時間の制限もあり、人材不足の状況にある。そのため、トラックへの積み込みも遅れてしまうこともある。そのような中、期待していることはレンタルパレットを使ったパレット輸送である。しかし、パレットへの積み込みを手動で行っているのは、その労力がかかってしまう。熊本市には優秀なロボットメーカーもあるので、そのような企業に協力をいただき、進めてほしい。</p>	<p>【市長】 選果場の人手不足は深刻であり、労務管理にも気を使わなければならない中で、省力化や自動化が重要である。アシストスーツのようなものがあるかもしれない。また、地場企業との連携などを検討していくことも良いことだと思う。経済セクションの打合せはあるので、そのようなときに、熊本の農業のために何かできないか、ノウハウをお持ちだと思っているので、つなぎを頑張ってやっていきたい。</p> <p>【農水局長】 スマート農業の国事業を説明させていただいたが、先日、市が提案したプロジェクトが採択され、JA鹿本西瓜専門部会を対象に行っていく予定である。選果場での計画的な出荷やアシストスーツのようなICTやAI等の技術を使った労力のかからない方法の検討など行っていきたいと考えているので、今後とも協力をお願いしたい。</p>	農水局 経済観光局	農業支援課 経済政策課 産業振興課

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>■秋津地区の普通作について</p> <p>秋津地区ではほ場整備後に乾田化が進み、麦、大豆、施設園芸が盛んである。30代、40代の農業者が現在17名いるが、全員、施設園芸を行っている。施設園芸でないと営農が成り立たない状況である。しかし、秋津地区は普通作で高い評価を受けている地区であり、営農組合を中心とした集積も進んでいる。また、普通作はコストに対する価格の評価が低いのが現実である。</p> <p>現在、秋津営農組合で大型汎用や自脱型などの大型機械を所有しているが維持費の負担が大きく、今後、大型機械化に向けたリース事業の拡充や防除費用の補助等があると助かる。</p>	<p>【市長】</p> <p>秋津地区は熊本地震の被害で作付けができるまで大変だったと思うが、復旧が進んでいるようで安心した。一方、普通作に関しては、さまざまなコストがかかり、コストに対して利益が上がらないことは課題であると思う。農業のポテンシャルに関しても、米や大豆などの普通作については難しい側面があると思うが、ご要望に応えられるようにしたい。</p> <p>【農水局長】</p> <p>コストを下げるために、営農組合として周辺の益城町や嘉島町等の地域へ生産を広げ、施設・機械の利用規模の拡大等、熊本地震からの創造的復興として展開してほしい。機械のレベルアップには、国事業等の活用が考えられる。</p> <p>単価のアップについては、加工業者との連携や熊本地震からの復興応援する飲食店での使用促進などの取組みを検討していきたい。</p>	農水局	農業支援課 農業政策課

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>■補助事業の点数制及び市農水局の組織改編について 東部地区は農家1軒1軒の規模は小さいが、若い人も多く、頑張っている地区である。 規模拡大に向けた補助制度などで採択されるためには点数制で点数をとる必要があるが、制度上、大規模農家がより大規模を目指すためのような点数設定である。そのため、小規模から中規模を目指すような場合、点数が取れない。地区の特色に合わせた点数設定や、熊本市独自の点数を設けてほしい。 また、以前、説明のあった市農水局の組織の集約化はどうなったのか。</p>	<p>【市長】 国事業などは予算額に対して多くの応募があるため、ポイント制が設けられているが、ハードルが高いということをおっしゃる方は多い。市としても、ご意見は何っている。農業の予算も増額しており、市の独自事業である「夢と活力ある農業推進事業」は市長就任時より倍増している。重点的に取り組んでいることをご理解いただきたい。 組織については、各区役所内に農業振興課があることで、皆さんが行きやすいという利点もあるが、一方で、農業の知識を持った職員を集約して、機動的に皆さんの所にお伺いできる体制の方が良いのではということもあり検討してきた。人材をできるだけ集中させ、組織を強化し、こちらから現場にお伺いすることで、お互いに手間が省け、職員の専門性も高くなるという考え方である。議会でも説明はしてきたが、慎重なご意見もいただいたので、再度検討し案を示したい。私のイメージとしては、行政区よりもエリアで分け、カバーする拠点を設け、そこに集中して組織を固める方が機動的に動けるのではないかと考えている。 例えば中央区のまちづくりセンターは全てのエリアの担当者が1か所に集まっている。集中していることで、各エリアで共通する課題を集約して、すぐに解決することができるという利点があり、そういったことも参考にし、検討している。 今後も農水局を中心に検討していくが、組織は皆さんのニーズに合わせて、柔軟に形を変え、良いものにしていく必要があると考えているので、またご意見をいただきたい。</p> <p>【農水局長】 国事業は法人化や規模拡大等、国の目指す施策に合う内容に点数がつくようになっているが、施設園芸や果樹については土地利用型作物に比べてハードルが高いことから、国に対して、見直しを要望し、平成30年度に国においても一部見直しがなされたところである。地区別は難しいかと思うが、ご意見をいただきながら、ポイント制への上手な取組み方など提案していきたいと思うので、一緒に検討させていただきたい。 組織については、集約して、センター形式にし、職員の専門性を高めることで、より深く農業の知識を持って、現場に行ける職員を増やす形を検討させていただいている。今までもご意見を承っていますので、現場に向くにはどういった形にするのか、事業の受付など、農業者が市の対応により満足できる形を検討し、案を考えていきたい。</p> <p>【農業支援課長】 夢と活力ある農業推進事業も採択にはポイント制を設けている。事業の効果をより発揮できるものに対してポイントをつけるような形である。4月から募集開始となり、予算額も平成31年度は前年度から500万円増額しているので、活用いただきたい。</p>	農水局	農業支援課 農業政策課

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	<p>■補助事業について 5年前に県単の省力化事業でコンバインの4条刈りを導入した。このコンバインは4条刈り、45馬力程度のもので、刈取面積の目標は26haと高く設定している。昨年はこのコンバイン1台で16ha程度を収穫したが、30a区画がベースの土地改良区では、10haが限界であると機械の業者からも聞く。目標達成が厳しく、もう1台の機械導入も難しい。条件の緩和をお願いしたい。</p>	<p>【農水局長】 基準はあるが、ほ場により作業性の違いなどがあると思うので、補助事業を実施する場合、個別にご相談を承りながら調整していきたい。</p> <p>【農業支援課長】 補助事業で機械を導入する場合は、作物の種類や作業時間、高性能機械導入の下限面積などから機械の規模決定を行う仕組みとなっている。</p>	農水局	農業支援課

No.	ご意見	回答	局	担当課
6	<p>■スマート農業等の今後の農業について</p> <p>熊本市農業後継者クラブでは2月に農産物販売会、わかもん市を開催し、市長にもおいでいただきありがとうございました。</p> <p>若手農家の目標は先輩たちの農業を勉強し、自分たちの農業を掛け合わせて、新しい農業について頑張っていくことだと思う。また、スマート農業など栽培計画、栽培管理、販売等、パソコンやスマートフォンなどを利用した、手軽に情報を得られるようなシステムがあれば活用していきたい。</p>	<p>【市長】</p> <p>わかもん市などを定期的に行うことは良いことと思うし、場所もびぶれず広場だけでなく、桜町再開発や花畑広場のように入が集まるところでの開催など、熊本市の施設も活用できるなら考えていきたいと思うので、今後もよろしくお願ひしたい。</p> <p>先日、水産物フェアにも行ってきたが、熊本に新鮮なものがあるということを知ってもらうことが重要である。スーパーには熊本産がないと言われることもある。先日、大手スーパーの責任者の方の表敬訪問を受けたので、ぜひ熊本フェアを開催してくださいとお願ひした。その際には若手の農業者の皆さんにも参画いただくことで、生産者の顔が見え、非常にプラスになると思う。消費者に深く理解してもらうような取組みにしていきたい。</p> <p>スマート農業については、これからのことではあるが、基本的には効率化、分かりやすくしていくことが重要である。普及しているスマートフォンやタブレットなどの使い方を身近に教えてもらえるような体制があることが安心につながると思うので、研修等を行うことはよいと考える。これから進めていくスマート農業について、どういった形で、何をやろうとしているのか、皆さんに分かりやすく説明するように農水局でも心がけてもらいたい。</p> <p>【農水局長】</p> <p>スマート農業実証事業はJA熊本市の茄子部会、JA鹿本の西瓜専門部会で実施していく。経営や生産の関係も含めて、優良な農家の方の技術を若手の農業者へ伝え、また、地域で病気や害虫が出たときの情報提供による早期の防除のほか、販売にも活用していきたい。</p> <p>できあがったシステムは両部会だけではなく、熊本市全体にも広げていくことを考えている。実際にスマート農業を行っていくのは若手の農業者が中心になると思うので、今後とも一緒に検討していきたい。</p>	<p>農水局</p> <p>都市建設局</p>	<p>農業支援課</p> <p>都心活性推進課</p>
7	<p>■ピーマンのブランド化、出荷等について</p> <p>長嶺、供合、戸島地区では全国でも珍しい立派なピーマンが栽培されている。エースピーマンはJA出荷で共同選別であるが、ほかの品種も栽培されている。ブランド化は同じ品種でないといけないのか。</p> <p>JAの共同選果で出荷すると関東に出荷できる。個人で行うと家で収穫し、機械または手で選別し、決まった市場にしか出荷できない。全部、共同選別してもらえらるなら、収穫して、出荷するだけなので、農家は省力化でき、販路を拡大できるのではないか。</p>	<p>【市長】</p> <p>今、ピーマンについて調べると、宮崎のビタミンピーマンが大きく打ち出されている。宮崎県と宮崎経済連と一緒にPRしている。いただいたご意見については、JAともよく話しながら、検討したい。</p> <p>【農水局長】</p> <p>ブランド化は、同じようなピーマンで売るということもできると思う。特定の品種でないといけないことはない。</p> <p>共同選果については、なぜそのような受入れ状況になっているか等、農協に話を伺い、一緒に考えていきたい。</p>	<p>農水局</p>	<p>農業支援課</p>

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	<p>■秋津の農地について 熊本市では水道水の約3分の1を秋津の地下水から取っているが、水稻、大豆、麦を栽培している農地の地下であるため、地盤沈下等が不安である。</p>	<p>【市長】 秋津の農地の地下は地下水の貯まるプールである。5月から10月に大津町、菊陽町を含めた白川中流域で湛水事業を行い、水質や水量は良くなっている。 熊本地震後に秋津のほ場を訪問した際にも、地盤の状況は深刻と思った。秋津の地盤の状況については、地下水財団で研究している熊大の先生等がいらっしゃるので、聞いてみたい。秋津に限らず、熊本地震があつてから、それぞれの地域でご心配があると思う。断層については、国土地理院のホームページ等で公開されているので確認していただくとよいと思う。地下水の状況やボーリング調査を行った地層状況などのデータもある。 また、液状化の対策の工事を国土交通省所管の事業で行うので、今後液状化しやすいエリアとかの地盤状況等のデータも分かるかもしれない。農水局だけでなく、関係局の他のデータも合わせながら、皆さんに参考情報として提供することで、安心につながると考えるので、そういったことも検討していきたい。</p> <p>【農水局長】 農水局でも、秋津では地震により地盤沈下の被害が大きかったことから、復旧・復興では客土を行い、より下がったところについては農地の嵩上げを行った。地下水に関しては、いかに確保していくかという取組みを環境局と連携して、市全体で取り組んでいきたい。</p>	<p>農水局 都市建設局 環境局 上下水道局</p>	<p>農地整備課 震災宅地对策課 水保全課 水運用課</p>